

# 仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。

今回の更新で27回目となりました。

100万人の防災!

「生き残り」「生き延びる」ための地震対策を始めましょう!

■もう一度。周りを見回してください!

平成20年3月27日掲載

家屋の耐震、家具の固定、非常持ち出し品、安否確認方法など一般的に地震対策を考える際に必要だと思われることをこれまで話してきました。

「一度対策をしたら終了」ではありません。「もう一度」「再点検」が肝心です。

私や私の周りで見つけた(感じた)地震対策の見直し点をお話したいと思います。

高いところの物

「家具は固定した。」「戸棚には開き戸ストッパーをつけた。」とは言っても、地震対策をしてから自然と日が経つにつれて「固定したタンスの上に物が増えてきた。」「吊り戸棚に土鍋(重量物)を入れていた。」などということはありませんか?

せっかく家具を固定していても、上に載っているものがそのままだったり、重量物では高所にある分、大きなエネルギーを持って飛び出していきます。

下の写真は消防局で行っているロッカーの上の対策です。



ロッカーの上に設置したテレビはベルトで固定しています。



住宅用火災警報器の啓発用モデルには四隅に耐震ゲルマットを敷いています。

※同僚のリビングにあるカーテンボックスの上の鉢植えです。

高さ2.5メートル位の高さに置いてある鉢植えです。飛んできたら結構な危険物と思ったのですが、下にはそれぞれに耐震ゲルマットを敷いて固定してあるそうです。



## 固定具の点検



家具の固定に大変便利な器具ですが、L字の金具と異なり可動部分が多いせいか月日経つにつれて緩みが生じてしまいます。

いざという時「何の役にも経たなかった。」ということが無い様に、半年に一度は緩みなどを点検しましょう。

今回は2つのポイントだけでしたが、気がついた都度にホームページに掲載したいと思います。

一緒に「よりよい」「命を救う」地震対策をしましょう。